

滋野地区地域づくり推進検討会議 議事録

開催日時：平成23年10月5日（水） 午後7時から午後9時

場 所：滋野コミュニティセンター

出席者：JA信州うえだ滋野店店長 宮下 清行

滋野地区活性化研究委員会会長 吉田 周平
副会長 荻原 利幸、柳澤 幸徳
部会長 丸山 克寿、高藤 征紀、斉藤 紀正

生涯学習推進協滋野地区委員長 麻見 明利

滋野地区青少年育成協議会会長 後藤 富美男

滋野小学校PTA会長 山辺 修、副会長 尾沢 治夫

滋野地区分館長会長 阿倍 欣史

道の駅駅長 唐澤 光章

保健補導員会滋野地区会長 小川原 敬子

民生・児童委員会滋野地区会長 関 茂

滋野保育園保護者会長 若林 賜美

消防団第2分団長 唐澤 茂幸、副分団長 清水 隆春

赤岩区長 平井 征治、片羽区長 下條 貞昭、桜井区長 土屋 昌光

滋野地区区長会長（大石区長） 関 勝人、中屋敷区長 若林 常夫

別府区長 内田 仁、聖区長 上野 利文、乙女平区長 佐野 恭二

王子平区長 荻原 武男 (以上27名出席)

【アドバイザー】長野大学 佐藤教授、山崎講師

【事務局】寺島企画課長、小菅補佐、織田

1. あいさつ（企画課長）

2. 滋野地区地域づくり推進アドバイザーの紹介

長野大学 佐藤教授、山崎講師の紹介

3. 協働のまちづくりの先進事例の紹介

沖縄県石垣島白保村「世界一のサンゴ礁を活かした住民主体の持続可能な地域づくり」
（別添資料を基に説明）

※地域には地場産業の活性化に繋がるネタが必ずある。**地域づくりの主役は地域住民であり、専門家や行政は後ろから支える役割である。（または触媒である。）**

※地域づくりに関する意思決定は地域住民が行わなければ、地域づくりはうまく進まない。

※地域で地域づくりビジョンを作ることもひとつの方法である。できるだけ多くの住民が納得したビジョンを作り、様々なイベントを仕掛けながら、仲間づくりを図り、地場産業の発展に繋げていくことも考えられる。

※一つ一つやることで、いろいろな動きが出始め、結果、地域の活性化に繋がる。行政が「こうやるべきだ」と押し付けるようなことは絶対に避けるべきである。

4. 滋野地区地域づくり推進に関する意見交換

【佐藤教授】

滋野地区の皆さんの地域づくりに関する意見等をお聞かせ願いたい。

【山崎講師】

紹介事例は、地域課題を地域住民自らが見つけたことから始まり、地域の輪が築かれ、地域産業へ発展し、地域の盛り上がりにつながった事例である。まず、きっかけを如何に見つけるかが大切である。

【吉田】

滋野地区活性化研究委員会の取り組みを紹介

アマワラビの栽培、くるみ料理コンテスト、くるみオーナー制度の検討、歴史の勉強会等

【佐藤教授】

魅力的な話が多くある。しかし、どれだけの地域の皆さんが、これらの活動に関心があるかということも検証する必要がある。

【唐澤】

柵津活性化研究委員会の「方言カルタ事業」が知事賞を受賞したことを紹介。地域づくりには核となるものが必要であり、地域住民自らが築き上げたものは必ず大切にすると思う。地域づくりは、地域住民が主体となって取り組まなければ成功しないと考えている。

【宮下】

地域づくりを進めるためには、**まずそのための組織を作ることが重要であると思う。**どのように組織を構築したらよいか。

【佐藤教授】

組織を作って何かを考えるというより、やりたいことがあるからそれを実現するための組織を作ることが望ましいのではないか。

様々な事例を見てきたが、まず組織づくりから始めるとそれに対抗する組織ができた事例や組織だけ作って何もやらないという事例が数多くある。

やりたいことからであれば、マンパワーが生まれやすく、結果、組織づくりに繋がるものであり、多くの地域住民の関心の基に構築される組織が望ましいのではないか。

【吉田】

継続性を持たせた組織を築くことが重要である。

【佐藤教授】

核となる活動が重要である。地域の中でどのような活動を行うか、それが見えてくる必要がある。

この地域は直面する深刻な地域課題が無いように感じる。しかし、徐々に危機感を感じる問題はあるのではないか。その問題を乗り越えて、どんな地域にしたいかに繋げることがポイントである。

この地域にも様々な誇れるものがあると思う。様々な素材を地域住民が行っていくことで、地域に動きが出てくる。このことが地域づくりのきっかけとなる。

【山崎講師】

地域の意見を吸い上げられる組織が大切であり、そのためには、実動部隊や若年層、女性が組織に入ることも重要な要素の一つである。

【佐藤教授】

この先どのように進めるか。まずは、何か始められるものはあるか。こんなことであつたらやってみたい、という意見を次回の会議に持ち寄ることとしたい。

今までにない発想、地域で誇れるもの、地域資源、各区の自慢などの素材を持ち寄ることから始めたい。また、次回は滋野地区のガイドブックについてもお話をお聞きしたい。東御市の胡桃の再生や成り立遺跡も面白い素材である。

次回、このメンバーで素材を持ち寄り、会議を開催することを確認し閉会となる。